TCI
Technology Car Innovation

ワイヤレスバックカメラ

WMBC-1001S

見たい場所に、
ワンタッチ。

磁石で取り付け、映像を無線で確認。
録画までできる、バッテリー内蔵カメラ。



商品合成イメージ・画面は模式表示

130°
カメラ視野角

7インチ
録画モニター

最大4台
接続・分割表示

MP4
映像・音声保存

技適取得済み。重機・建設機械、海上コンテナ、
トレーラーやフォークリフトの視認補助に。
カメラ側の車両電源工事と長い映像配線を省けます。

適合・デモ・見積もりのご相談

06-6151-3697

tci-car-item.com/contact/

磁石が吸着する面への設置が前提です。モニターの固定・給電と、導入前の通信確認が必要です。

製品紹介資料。正式取扱説明書の代替ではありません。仕様・同梱品は現行品との適合をご確認ください。

PRODUCT OVERVIEW

配線の難しい場所にも、確認用のカメラを。

セット品番：WMBC-1001S／カメラ：BI-WLC-130／モニター：WLRM-NWP-HD7



カメラ側の工事を省く

カメラは磁石＋内蔵バッテリー。
穴あけ・ボルト固定や車両電源への
つなぎ込み、長い映像配線を省けます。

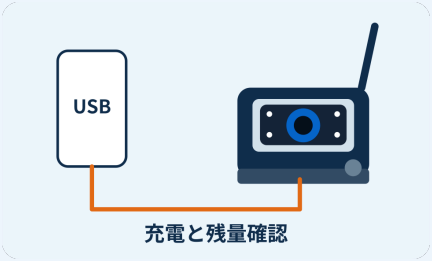
モニターの準備は必要

付属ブラケットで固定し、シガー電源へ。
直配線に変更する場合は電装工事が必要。
モニターは非防水です。

QUICK START

初回の準備と、毎回の確認を図解。

詳細な操作手順は、対象機種に適合した正式取扱説明書で確認してください。



STEP 1

カメラを充電する

付属USB充電ケーブルで事前に充電。バッテリー残量を確認し、使用時間に合わせて準備します。充電器・入力条件はBI-WLC-130の適合条件をご確認ください。



STEP 2

見たい場所に取り付ける

磁石が十分に吸着する鉄製の平らな面へ取り付け、角度を調整。保持力・落下防止・可動部との干渉を確認します。



STEP 3

モニターで映像を確認する

モニターを固定して車両の適合シガー電源へ接続。初回はカメラをペアリングし、停車状態で映像・向き・通信を確認します。



STEP 4

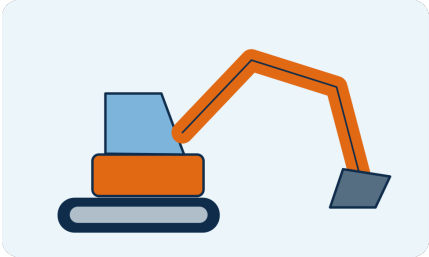
録画して、あとから確認する

対応microSDを装着し、録画設定・保存状態を確認。映像と音声をMP4で保存できます。録画条件・残容量を確認して運用します。

APPLICATIONS

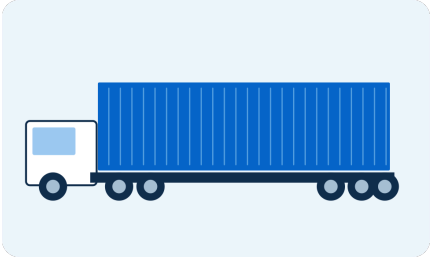
現場で「見たい場所」に合わせて使う。

図は活用提案です。取付位置、通信、電源、保持力は実車で確認します。



重機・建設機械

後方や作業周辺など、運転席から見えにくい場所の視認補助に。カメラの移設や複数台構成で、現場に合わせた確認範囲を検討できます。



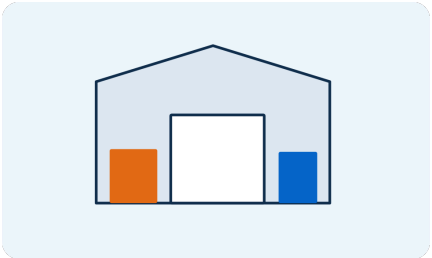
海上コンテナ・トレーラー

連結部をまたぐ映像配線が難しい車両や、入れ替えのある車両に。後方やシャーシ周辺の確認を支援します。



フォークリフト・構内車両

車両後方や作業箇所の確認を支援。必要な場所にカメラを配置し、モニターで見やすい位置を検討できます。



仮設・一時的な作業確認

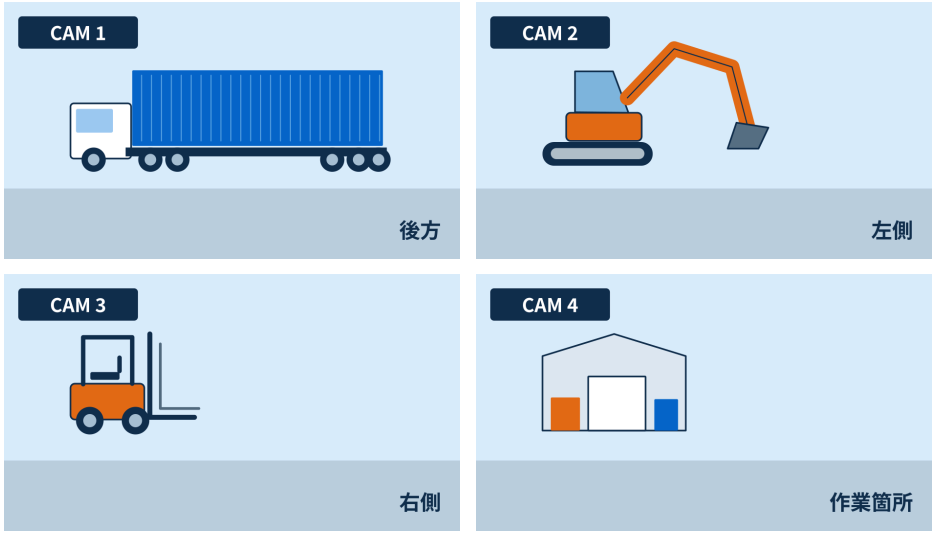
磁石が吸着する設備や構造物での作業確認にも応用を検討。現場の変更に合わせて付け替えやすい構成です。

TCI公式導入事例：兵庫県西宮市の運送会社B社・海上コンテナ車（2024.12.27公開）。
https://tci-car-item.com/information/6436/　車両サイズに応じた事前デモを推奨。

DISPLAY & RECORDING

複数の視点と、記録を組み合わせる。

最大4カメラをペアリング。2分割・4分割表示に対応します。



分割表示の模式図

映像と音声をmicroSDへ

カメラ内蔵マイクの音声も、MP4形式で保存。
標準16GB。同型モニター仕様は最大128GB。
録画解像度・保存時間・4台独立同時録画・
上書き・カード規格は別途確認してください。

一度設定したペアは次回電源ON時に自動接続。
ペアの上書きも可能です。周囲の無線干渉が
起こらないことを保証するものではありません。



通常モード（提供資料）



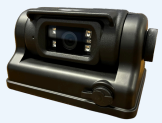
赤外線モード（提供資料）

暗くなると自動切替。
カメラ有効画素数1920×1080。
モニター表示解像度は
1024×3(RGB)×600です。

SET CONTENTS

カメラ1台・モニター1台と、付属品。

提供カタログ記載の標準構成。現行同梱品はご注文時に確認します。



カメラ本体

BI-WLC-130 ×1

カメラアンテナ

×1



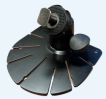
USB充電ケーブル

×1



モニター本体

WLRM-NWP-HD7 ×1



マウントブラケット

×1



U型ブラケット

×1



シガー電源ケーブル

×1



サンシェード

×1



角度調整ネジ

×4



リモコン

×1

モニターアンテナ

×1



レンチ

×1



microSD

16GB ×1

関連オプション：DBS-001（プレート＋280mmワイヤー×2）。1001Sへの適合はご相談ください。
1002S資料記載のケーブル長：カメラUSB 500mm／モニター側190mm／電源210mm。

WMBC-1001S／BI-WLC-130の仕様

出典：提供カタログ／WMBC-1002S製品資料。記載モデルを区別してご利用ください。

セット品番	WMBC-1001S
カメラ	BI-WLC-130
モニター	WLRM-NWP-HD7
カメラ有効画素数	1920×1080
カメラ視野角	130°（画角の測定方向は資料未記載）
カメラ防塵防水	IP69K
カメラ動作温度	-20〜60℃
カメラ保管温度	-20〜60℃
カメラ動作電圧（資料表記）	DC 10〜32V ※USB充電入力の指定値ではありません
バッテリー稼働時間	最大9時間／夜間5時間（提供カタログ記載）
バッテリー充電時間	最大8時間（提供カタログ記載）
通信距離	仕様上約60m。障害物・材質・通信環境で変動

カメラ取付	内蔵ネオジウム磁石による吸着
充電方法	付属USB端子の充電ケーブルを使用
夜間対応	暗くなると自動で赤外線モードへ切替
音声	カメラ内蔵マイクによる音声録音
記録媒体・ファイル	microSD／MP4
接続カメラ数	1〜4台
表示モード	2分割・4分割表示対応
再接続	一度ペアリングした組合せは次回電源ON時に自動接続
組合せ変更	カメラ・モニターのペアを上書き保存可能
技適	取得済み（TCI申告／提供カタログに適合認証表記）
提供形態	販売・レンタル（料金・条件は個別相談）

WLRM-NWP-HD7の全仕様

出典：提供カタログ／WMBC-1002S製品資料。記載モデルを区別してご利用ください。

LCDサイズ	7インチ
解像度	1024×3(RGB)×600
輝度	600cd/㎡
視野角	上下：85°　左右：85°
アスペクト比	16:9
チャンネル	4チャンネル
動作周波数	2400-2483.5MHz(ISMバンド)
送信出力	FCC:≦26dBm CE:≦20dBm MIC:≦10dBm
送信距離	FCC:≦300m CE:≦200m MIC:≦60m
受信感度	-75dBm
圧縮形式	H.264
変調方式	FHSS
microSD	最大128GB

遅延時間	200ms
システム形式	PAL/NTSC
消費電力	最大10W
スピーカー	1W/8Ω
動作温度	-20~+70°C　RH90%
保管温度	-30~+80°C　RH90%
動作電圧（カタログ）	DC 10〜32V
防塵防水（カタログ）	非防水
給電	付属シガー電源ケーブル。直配線への変更は電装工事が必要
ブラケット	マウントブラケット／U型ブラケット
モニター側ケーブル長（提供資料）	190mm
電源ケーブル長（提供資料）	210mm

RELATED MODEL / 70°

参考：BI-WLC-070の全仕様

出典：提供カタログ／WMBC-1002S製品資料。記載モデルを区別してご利用ください。

バッテリー容量	3.6V/6400mAh
充電電圧	DC 5〜12V
充電時間	5V/8時間、12V/3時間
充電電流	5V/1.5A(最大)、12V/1.5A(最大)
放電時間	9時間（昼間） 5時間（夜間）
充電温度	-10〜45°C
放電温度	-20〜60°C
保管温度	-20〜60°C
防水等級	IP69K
寸法	116×80×66 (mm)
重量	670 g
画像センサー	1/2.9型 CMOS
有効画素数	1920 (H) × 1080 (V)
画素サイズ	4.2μm×4.2μm
スキャン方式	プログレッシブスキャン
同期方式	内部同期
AGC	オート

S/N比	38dB
ホワイトバランス	オート
BLC	オート
動作周波数	2403MHz-2478MHz
受信感度	-78dBm
ビデオコーデック	H.264
フレームレート	25/30fps
送信出力	FCC:≦26dBm CE:≦20dBm MIC:≦10dBm
送信距離	FCC:≦300m CE:≦200m MIC:≦60m
スペクトラム拡散方式	DSSS
遅延	170ms
RFビットレート	12Mbps
最小照度	0.1 ルクス(昼間)、0 ルクス(赤外線使用時)
電源	DC 10〜32V
夜間視認距離	8〜10m
防水等級	IP69K
視野角	70°

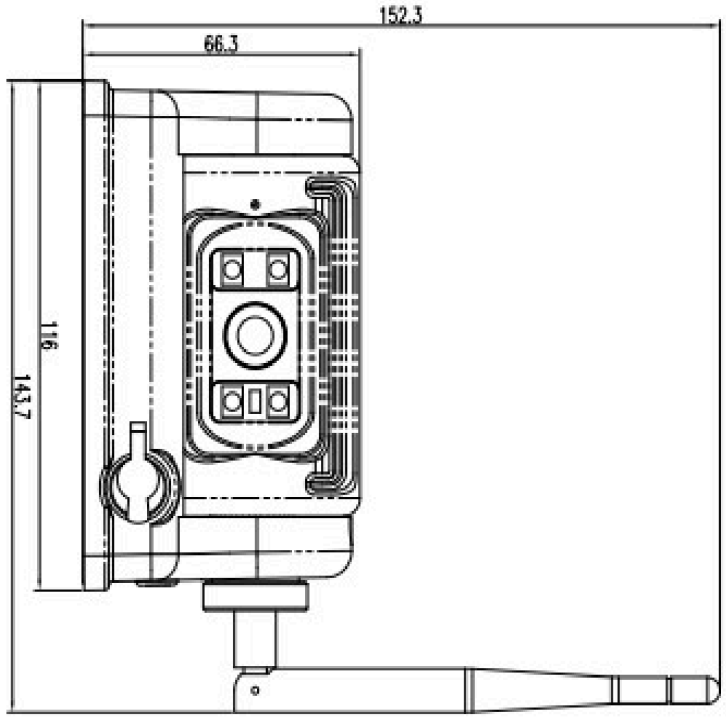
REFERENCE DRAWING / mm

参考カメラ図：BI-WLC-070 前面・後面

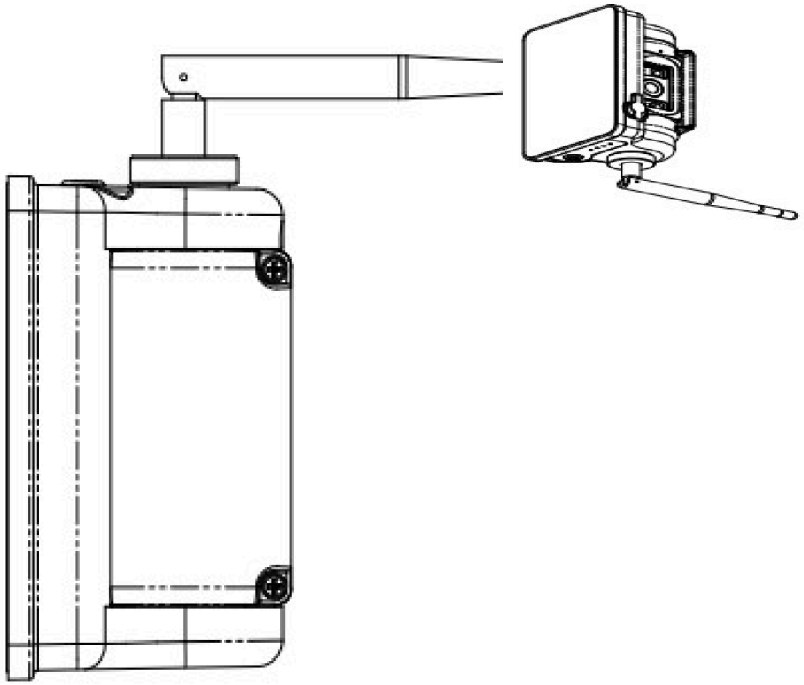
この図面は70°カメラの参考図です。1001S用BI-WLC-130の確定寸法として使用しないでください。

BI-WLC-070　寸法図

単位：
mm



前面図



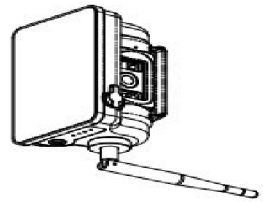
後面図

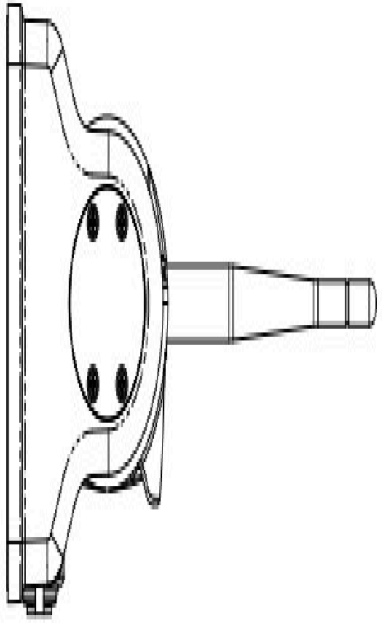
参考カメラ図：BI-WLC-070 側面・上面

この図面は70°カメラの参考図です。1001S用BI-WLC-130の確定寸法として使用しないでください。

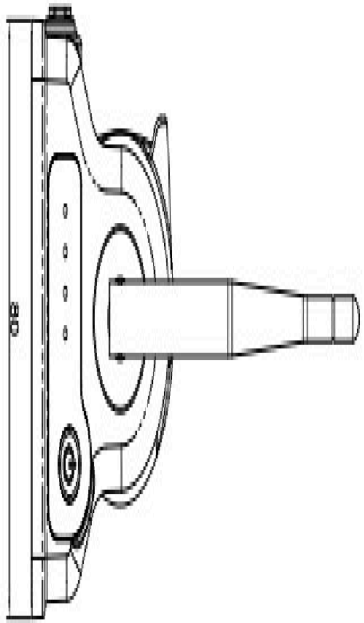
BI-WLC-070　寸法図

単位：
mm

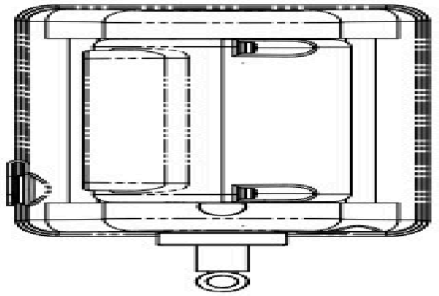




右側面図



左側面図



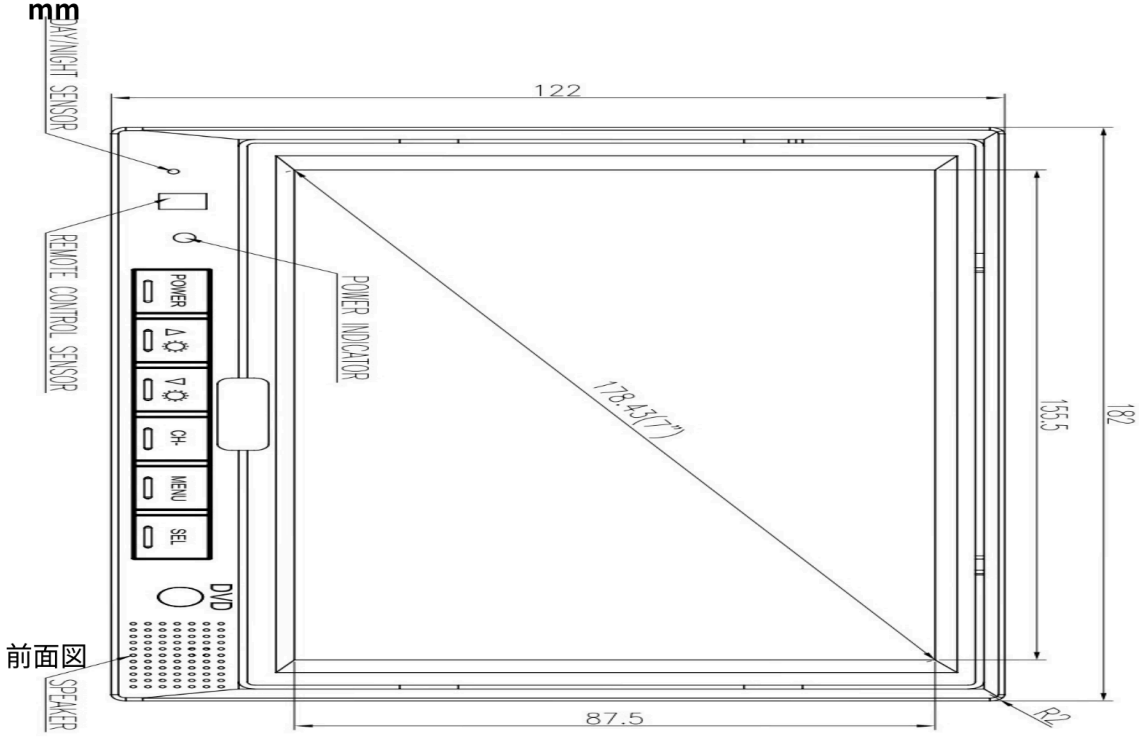
上面図

参考モニター図：前面・左側面

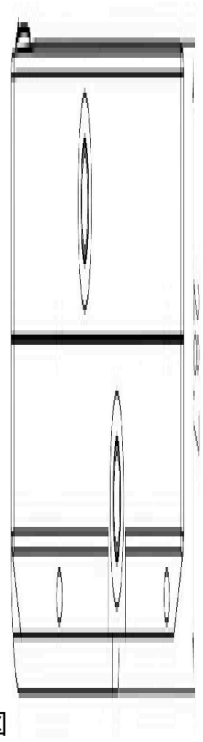
資料見出しと内部型式M0127が不一致。DC12〜32V 8W等の記載があるため、現行機との照合が必要です。

WLRM-NWP-HD7　寸法図 1/2

単位：
mm



前面図



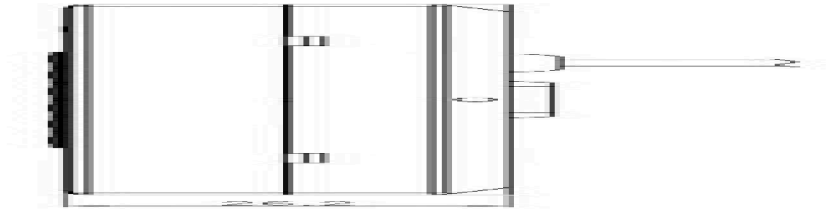
左側面図

参考モニター図：上面・底面・後面

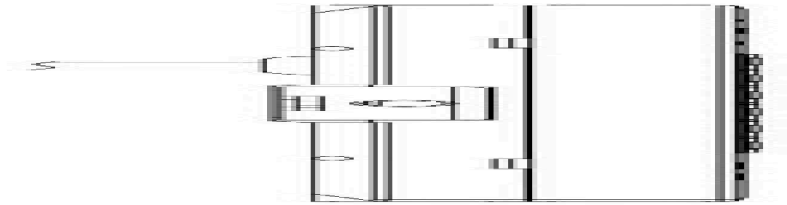
資料見出しと内部型式M0127が不一致。DC12～32V 8W等の記載があるため、現行機との照合が必要です。

WLRM-NWP-HD7　寸法図

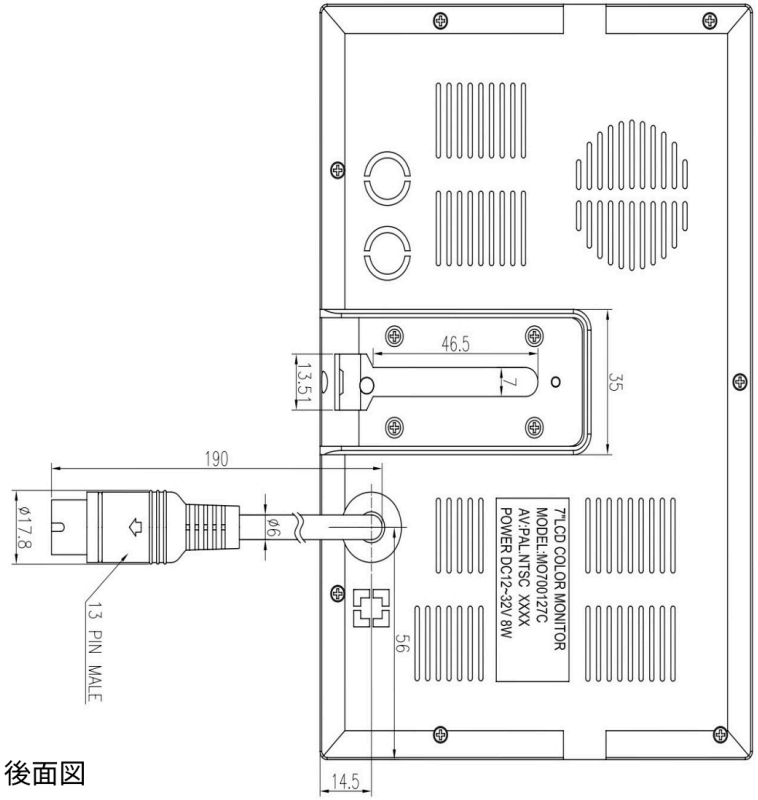
単位：
mm



上面図



底面図



後面図

FAQ

導入前の疑問にお答えします。

条件が未確定の項目は、TCIへの確認事項として明示しています。

WMBC-1001Sはどのような製品ですか？

130°のバッテリー内蔵ワイヤレスカメラBI-WLC-130と、録画機能付き7インチモニターWLRM-NWP-HD7のセットです。マグネット取付でカメラ側の配線工事を省きます。

本当にどこでも取り付けられますか？

磁石が十分に吸着する鉄製の平らな面が前提です。樹脂・アルミなど磁石が吸着しない面にはそのまま取り付けられません。取付強度、落下防止、モニター電源、無線通信の条件も確認します。

工事や配線は一切不要ですか？

カメラはバッテリー内蔵で、映像を無線送信するためカメラ側の車両電源・映像配線工事を省けます。モニターはブラケット等による固定と車両電源が必要です。直配線タイプへ変更する場合は電装工事が必要です。

最大何台のカメラを使用できますか？

1台のモニターに最大4台までペアリングできます。2分割・4分割表示に対応します。標準構成のカメラは1台で、増設分は別途ご相談ください。

映像だけでなく音声も記録できますか？

カメラにマイクを内蔵し、映像と音声をmicroSDにMP4形式で保存できます。4台の独立同時録画、録画解像度、保存時間、上書き動作は提供資料だけでは確定できないため、必要条件をご相談ください。

FAQ

導入前の疑問にお答えします。

条件が未確定の項目は、TCIへの確認事項として明示しています。

microSDの容量は？

標準構成は16GBです。同型モニターの提供仕様表には最大128GBと記載されています。カードの速度規格・形式・対応メーカーはご注文時にご確認ください。

バッテリーはどのくらい持ちますか？

今回の提供カタログでは最大9時間、夜間5時間、充電は最大8時間と記載されています。動作条件や電池状態で変わるため、使用時間に合わせて確認します。

何メートルまで通信できますか？

カタログの仕様上の通信距離は約60mです。通信環境、障害物の厚み・材質、車両サイズなどで変わるため、導入前のデモ実装を推奨します。海外向けFCC・CEの距離を国内仕様として案内しません。

夜間や雨天でも使えますか？

カメラは暗くなると赤外線モードへ自動切替し、IP69Kの防塵防水仕様です。7インチモニターは非防水のため、雨水などがかからない場所で使用します。現場条件に応じて見え方を確認してください。

技適は取得済みですか？

技適取得済みです。証明番号や対象機器の詳細が必要な場合はTCIへお問い合わせください。番号は本資料に記載していません。

FAQ

導入前の疑問にお答えします。

条件が未確定の項目は、TCIへの確認事項として明示しています。

WMBC-1002Sとの違いは？

WMBC-1001Sは130°カメラBI-WLC-130、WMBC-1002Sは70°カメラBI-WLC-070を使用する構成です。モニター品番はWLRM-NWP-HD7です。画角以外の詳細仕様を同一とは断定していません。

カメラやモニターの寸法を確認できますか？

このページに提供資料の寸法図を収録しています。カメラ図はBI-WLC-070の参考図で、BI-WLC-130の寸法を確定するものではありません。モニター図にも別型式名等の記載があるため、取付設計前に現行図面をご確認ください。

購入前に試せますか？レンタルできますか？

提供カタログに販売・レンタルの案内があり、導入前のデモ実装を推奨しています。台数・期間・車両・場所をお知らせいただき、可否・料金・日程をご相談ください。

AI人物検知や自動ブレーキはありますか？

今回の資料で確認できるのは映像表示・録画等の機能です。AI人物検知、自動ブレーキ、インターネット経由のスマートフォン監視を搭載する製品としては案内していません。